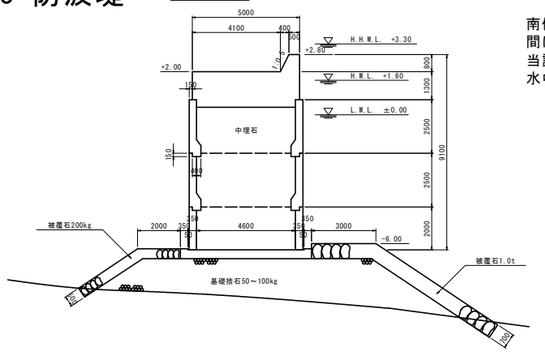
計画平面図

S=1:1000

瀬戸漁港（北泊地区） 旧港

A-3 防波堤

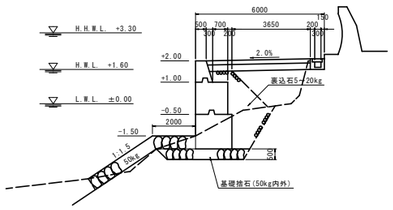
A-3 防波堤



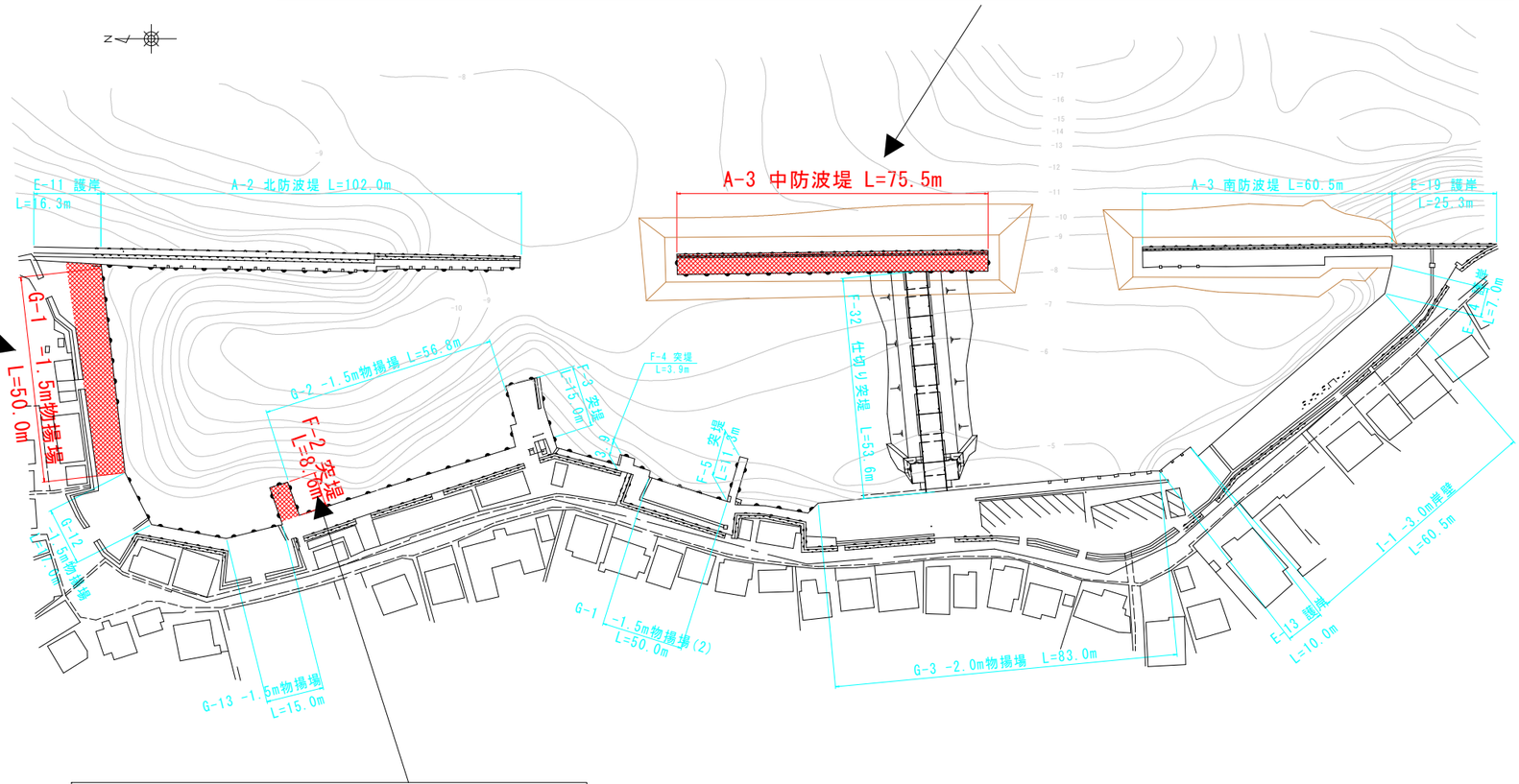
南側端部で堤体が移動しており、隣接スパンとの
間に10cm程度の大規模な目地開きが確認された。
当該箇所にはコンクリートにより開き部を塞いだ痕跡があるが、そのコンクリートも剥離している。
水中部の部材の状況を確認した上で、変状の原因を特定し対策を講じる必要がある。

G-1 -1.5m物揚場

G-1 -1.5m物揚場

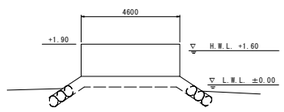


上部工とエプロンとの間に3cm程度の開きが確認された。
裏込石が吸い出しを受けている可能性がある。
沈下や陥没など大規模なエプロンの変状が生じる前に
水中部の部材の変状状況を確認し、変状の原因を
特定するとともに対策を講じる必要がある。



F-2 北泊突堤

F-2 北泊突堤



突堤中央部に、突堤を2分するような貫通クラックが生じており
そのクラック幅も7cmと大規模な変状となっている。

当初設計図面

業務名	R２徳土　瀬戸漁港（北泊地区） 鳴・瀬戸 漁港施設修繕設計業務		
路線名等	瀬戸漁港（北泊地区）		
業務箇所	鳴門市瀬戸町北泊		
図面名	計画平面図		
縮尺	S=1:1000	図面番号	1 / 1
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局〈徳島〉		